

■「エコリレージャパン」との関りについて

35周年を記念して取り組んだ「地球温暖化防止活動」も今月で一区切りとなりました。会員の皆様のご努力下、多くの成果と貴重なスキルを蓄積することができました。ご協力ありがとうございました。



植樹は CO2 吸収活動

2011年度からは社会貢献活動をより地域社会に密着した活動へと進化させていきますのでよろしくお願いします。今回は、私たちができる「パナソニックエコリレージャパン」との関り方について考えてみます。

昨年10月に「パナソニックエコリレージャパン」が会社より発表されました。地球温暖化防止やライフスタイルの見直しなどの意識啓発を通じて、地域社会と共に環境保全活動へ参画し持続可能な社会への貢献を促すものです。具体的には

「森林・緑地・水」を中心とした生物多様性保全、里山保全、自然教育活動や地球環境保全活動

などを行うことです。

生態系の多様性を維持・保存・回復するには、地域の環境特性にあわせた活動(地域・河川の清掃整備、植樹活動や竹林整備などに加え、生物の多様性を回復する活動…例えば鮎の遡上運動など)を各地で展開することだと考えます。



一方、ライフスタイルの見直しは先月号でも掲載しましたが、意識の転換で個人、家族、地域それぞれで生活スタイルを見直していく活動です。

「習慣を変える」
「住環境を変える」
「地域との共有のあり方を変える」

ことで環境負荷の少ない生活スタイルを取り入れることです。

これからも「パナソニックエコリレージャパン」や地域と連携を深めながら、出来ることからエコ活動・地域貢献活動へ参加しましょう。

これまで松愛会各支部が自主的に取り組んできたボランティア活動のほとんどはエコリレージャパンの活動と主旨を同じくしており、また幾つかの活動はエコリレージャパンへ既に参画しています。ただし異なるのは

「生物多様性」や「ライフスタイルの見直し」など視点が広がっていることです。

生物多様性は

①種②遺伝子③生態系の多様性がありますが、私たちができることは、生態系の多様性を維持・保全・回復できる環境づくりに貢献していくことではないでしょうか。3千万種とも言われる生物が存続できる環境の中に私たち人間が生存する環境も含まれています。

CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2011.03掲載

生活を見直し
出来るものから
始めてみましょう。



20114.1
パナソニック松愛会
横浜東支部 エコ担当 小川友通
横浜西支部 エコ担当 畠山勝己